

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.27 2022年11月24(木)

京都私学フェスティバル

2022

教育と

今年のテーマ

LGBTQ+

11月20日開催

高校生の活躍光るフェス

11月20日(日)、京都駅前のキャンパスプラザ京都を会場に、京都私学フェスティバルが開催されました。テーマは「教育とLGBTQ+」。

前半「私学助成について学ぼう」では高校生のプレゼンに続いて福山哲郎議員が登壇。高校生との質疑応答にも熱心に答えてくれました。ほかにも各会派、計10名の国会議員からメッセージが届きました。

後半は東京・桐朋小学校の教員の星野俊樹さんとオンラインでつないで「教育とLGBTQ+」と題した講演。日常や学校教育に潜むジェンダー規範の呪縛をどう見るか、また試行錯誤しながら関係性をつくることの大切さなど、高校生の心に響く内容でした。講演後は4人のパネリストとディスカッションしました。

フェスの最後には京都タワー前で街頭署名活動。日が暮れた京都の通りで、元気な声を出して署名を呼びかけました。



右…私学助成学習会で説明する高校生
左…星野先生をオンラインでつないで高校生によるパネルディスカッション



右…高校生の質問に答える福山哲郎議員
下…京都駅前での街頭署名を終えて

オンライン参加したスクリーンの星野教諭と意見を交わす高校生
(京都市下京区・キャンパスプラザ京都)

誰もが生きやすい社会

同フェスは私学助成の拡充を目的に毎年、市内で開催されている。講演では、東京都の私立水やジェンダー教育をすすめる星野俊樹教諭がオンラインで登壇。家父長制や男らしさの押しつけに苦しみなながら過剰適応した半生を振り返り、「フエニス」に出会い救われた。自分は傷ついていたと認めることができ、声を上げるのはわがままではないと理解した」と話した。

続いて、高校生とのパネル討論があった。星野教諭は、LGBTQ+支援に取り組み、高校生から「支援に積極的

教育とLGBTQ+ 議論

生徒・保護者・教員 下京で「私学フェス」

私立高の生徒と保護者、教員が集う「京都私学フェスティバル」が20日、京都市下京区のキャンパスプラザ京都であった。「教育とLGBTQ+」をテーマにした講演やパネル討論があり、性別にかかわらず誰もが生きやすい学校や社会について高校生と教員が語った。

でない人にどう伝えていけばよいか」と問われ、

「影響力のある協力者に働きかけて周りの状況を変えていけば、その人の考えも変わるかもしれない」と応じた。

(大西野子)

京都新聞 11月22日付

